

赤十字 NOW

千葉 | 2017 Vol.38

▶ 発行所 / 日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812



日本赤十字社千葉県支部では、毎年5・6月を「赤十字運動月間」として、県民の皆さまに赤十字へのご理解を深めていただく取り組みを行っております。

赤十字運動月間

災害からいのちを守る赤十字

絶え間なく起こる災害や紛争—
 それらは人びとの尊いいのちや財産を一瞬にして奪い去ります。
 赤十字は190の国や地域に広がる世界的ネットワークを生かし、
 人びとの苦痛を軽減し、予防するためのさまざまな活動を行っています。
 赤十字だからこそできる活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



みなさまのご協力をおねがいします。

千葉ロッテマリーンズも赤十字の活動を応援しているよ!



CONTENTS 2017 vol.38

- 2** あなたが支える赤十字活動
日本赤十字社が行う9つの事業
- 3** 誰もが健康で安全に暮らせる住みやすい社会を!!
~ボランティアとして活動する~
- 4** 災害時だからこそ「困っている人の役に立ちたい!!」
~防災ボランティアとして活動する~
大切な人、身近な人、困っている人を助ける技術を学ぶ!!
~赤十字講習を受講する~
- 5** 近い将来、発生が予測される大規模広域災害に備えて!!
- 6** 赤十字マークの適切な使用にご協力をお願いします
皆さまに支えられて125年!!
~日本赤十字社千葉県支部 創立125周年①~

あなたが支える赤十字活動

～赤十字はみなさまの寄付による活動資金(社資)に支えられています～

日本赤十字社は、地震や台風等の自然災害や大事故に見舞われた被災地での、被災者への継続的な支援や、世界 190 の国と地域にある赤十字・赤新月社の一員として、自然災害の被災者や紛争犠牲者等への様々な支援活動に取り組んでいます。

国内外において、緊急救援から復興支援に至るまで幅広く活動を展開できるのは、日頃から赤十字の人道的な活動に賛同し、資金協力をさせていただき皆さまに支えられているからです。

[収入]

■ご協力をお願いする金額	620,000千円
■その他雑収入 (補装具製作収入ほか)	132,850千円
■収入合計	752,850千円

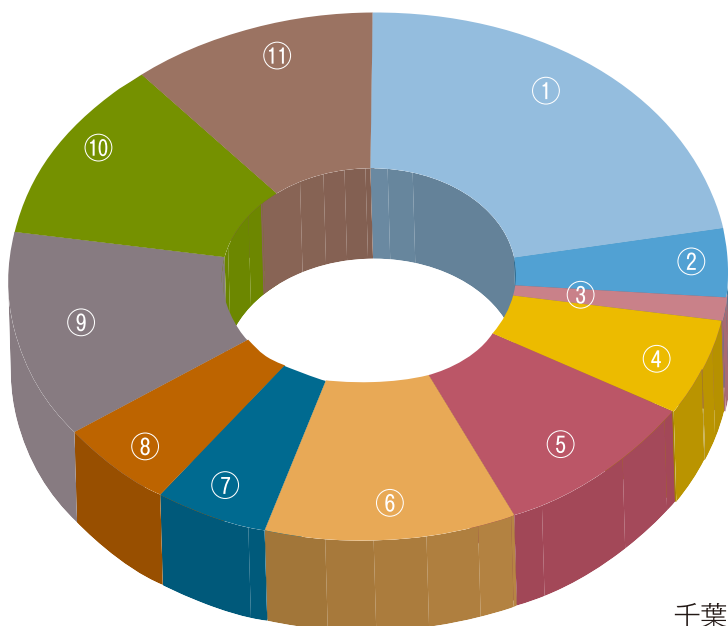
[支出]

事業・活動費 合計 **752,850千円**

①災害救護体制の充実・強化	170,370千円
②健康・安全のための知識と技術の普及	43,991千円
③国際活動の充実	5,397千円
④義肢製作所の運営	55,821千円
⑤地域における赤十字活動	75,340千円
⑥業務管理	86,146千円
⑦赤十字奉仕団による活動	29,835千円
⑧青少年赤十字の活動	32,025千円
⑨赤十字精神と社旨の普及	93,232千円
⑩全国的な赤十字事業、活動	81,750千円
⑪各事業共通管理運営	78,943千円

【平成29年度予算額】

千葉県支部では平成29年度に皆さまからお寄せいただく資金で次のような活動を行います。赤十字活動資金にご協力お願いいたします。



日本赤十字社が行う9つの事業



救護活動



赤十字奉仕団



救急法等の講習

国際活動

医療事業

青少年赤十字

血液事業

社会福祉事業

看護師等養成事業

誰もが健康で安全に暮らせる住みやすい社会を!!

～ボランティアとして活動する～

赤十字の活動は、ボランティアによって支えられています。

赤十字ボランティアは、赤十字思想の普及や活動資金の募集、災害時の活動、救急法・水上安全法・健康生活支援講習等の普及、献血推進など赤十字事業の推進にあたる活動を行っています。

地域に根差した活動、技術を活かした活動など、自分にあった「かたち」でボランティアを始めてみませんか？

お問い合わせ等は千葉県支部組織普及課へ!!

地域に根差した活動



防災訓練で炊き出し非常食を提供する地域奉仕団



高齢者支援活動を行う地域奉仕団



千葉県内には、約9,600人の赤十字ボランティアがいます。

技術を活かした活動



無線通信により臨時救護活動に当たる特殊救護奉仕団



水の事故防止のため、着衣水泳教室を開催する安全水泳奉仕団

千葉県内の9つのボランティアグループ（奉仕団）

- 地域奉仕団 ○青年奉仕団 ○安全奉仕団 ○看護奉仕団 ○語学奉仕団
- 成田赤十字病院ボランティア会 ○特殊救護奉仕団 ○安全水泳奉仕団 ○青少年赤十字賛助奉仕団

災害時だからこそ「困っている人の役に立ちたい!!」 ～防災ボランティアとして活動する～

赤十字では、災害などのもしものときに被災者を支える「防災ボランティア」の養成を行っています。

防災ボランティアは、災害発生時および発生後に、被災地において復旧・復興活動を行い、被災者の方々がいち早く元の生活に戻れるように支援することを目的に活動しています。

防災ボランティアへの登録は、赤十字防災ボランティア一般説明会に参加いただき、活動内容の説明と応急手当等の簡単な実技体験をしていただいた上で、趣旨にご賛同いただけた方に個人登録をお願いしています。

お問い合わせ等は千葉県支部救護福祉課へ!!



救援物資の輸送・配分を行う
防災ボランティア



炊き出しを行う
防災ボランティア

大切な人、身近な人、困っている人を助ける技術を学ぶ!! ～赤十字講習を受講する～

人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識と技術を伝えるため、日本赤十字社は5つの講習を行っています。



日本赤十字社の5つの講習

- 救急法：人工呼吸・胸骨圧迫の方法、AEDの使用方法、三角巾の使い方など。
- 幼児安全法：乳・幼児期に起こりやすい事故の予防と、その手当など。
- 健康生活支援講習：高齢者の介護の方法、健康管理の方法、地域での高齢者支援など。
- 水上安全法：泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法など。
- 雪上安全法：スキー場などでの事故防止や、けが人の救助、応急手当など。



救急法

幼児安全法



健康生活支援講習



水上安全法

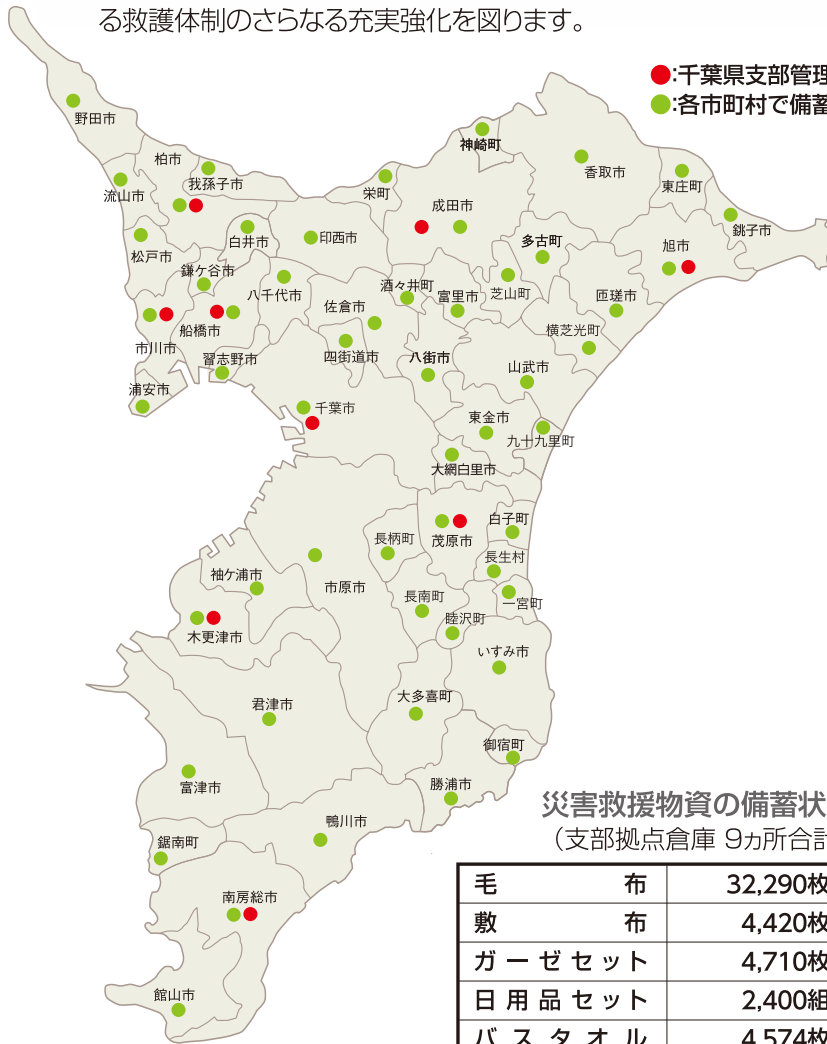


雪上安全法



近い将来、発生が予測される 大規模広域災害に備えて!!

近い将来、発生が予測される大規模広域災害（首都直下地震、千葉県東方沖地震、南海トラフ地震ほか）に対する救護体制のさらなる充実強化を図ります。



千葉県支部の救護体制

千葉県支部では、医療救護班を成田赤十字病院に12個班、千葉県赤十字血液センターに2個班を常備し、災害発生時には、直ちに被災地へ派遣する体制を整えています。



救援物資の備蓄

県内9カ所に災害救援物資拠点倉庫と県内43市町村に54の災害救援物資等保管倉庫を整備し、救援物資の備蓄体制を確保しています。

災害救援物資の備蓄状況
(支部拠点倉庫 9カ所合計)

毛	布	32,290枚		
敷	布	4,420枚		
ガ	ーゼ	セ	4,710枚	
日	用	品	セ	2,400組
バ	ス	タ	オ	4,574枚
収	納	袋	1,240枚	
布	団	セ	48セット	
緊	急	セ	1,494組	
安	眠	セ	1,375組	

(平成28年12月現在)

災害救援物資拠点倉庫（市川市）



災害時に配布される救援物資



緊急セット

※上記のほか安眠セットも配布されます。

緊急セット



赤十字マークの適切な使用にご協力をお願いします。



病院・薬局・商品などで見かけるこのマーク。
実は、自由に使うことができません。
日本の法律や国際的な取り決めでその使い方が決められています。

赤十字マークは、戦争や紛争などで傷ついた人々と、その人たちを救護する軍の衛生部隊や赤十字の救護員・施設等を攻撃から守るために使用(表示)するマークです。したがって、紛争地域等でこの「赤十字マーク」を掲げている病院や救護員などは、絶対に攻撃をしてはなりません。これは国際的な取り決め(ジュネーブ条約)によって厳格に定められています。

また、戦時以外での「赤十字マーク」の使い方についても、ジュネーブ条約や国内の法律(赤十字の標章及び名称等の使用の制限に関する法律)によって厳格に定められています。赤十字マークを使用できるのは赤十字社と自衛隊の衛生部隊など法律等に基づいて使用が認められている組織だけで、一般の病院や商品等に付けることは法律等により禁止されています。

皆さまに支えられて125年!! ~日本赤十字社千葉県支部 創立125周年①~

日本赤十字社千葉県支部は、明治25年11月16日に
千葉県委員部として創立され、今年で125周年を迎えます。

125年のあゆみ (創立当初)

設立当初は、事務所を県庁舎の一隅に仮設し、職員も県官数名が官務の傍ら事務処理を行っていました。

その後、事務量の増加と共に担当者も増え、明治36年に最初の社屋が完成しました。

会員数は明治19年時点で県下に3名、その後、千葉県支部の設立に伴い、会員数が増加し、明治29年末には約1,900名となりました。現在では、約280,000人の会員の皆様と約12,000の法人・団体様によって支えられています。



支部最初の社屋(明治36年竣工)